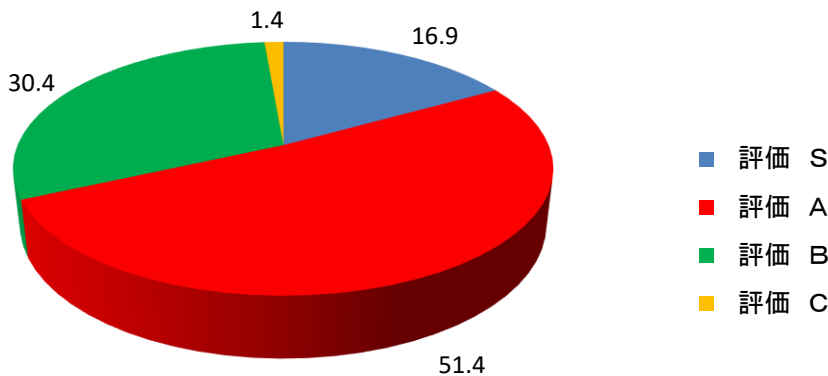


令和元年度 教職員による自己評価の分析について

共通項目 (教育全般、組織の一員、職務の目的意識、研修)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

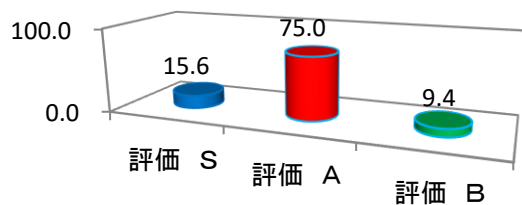
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

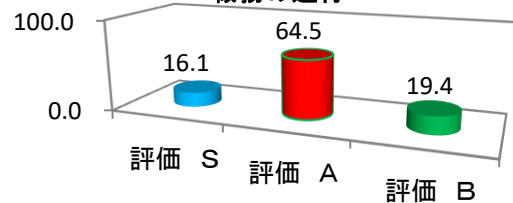
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

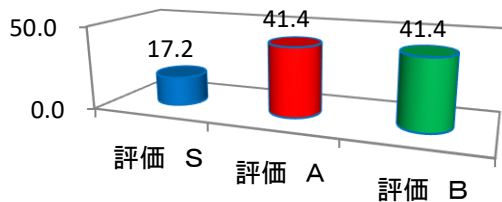
教育への取り組み



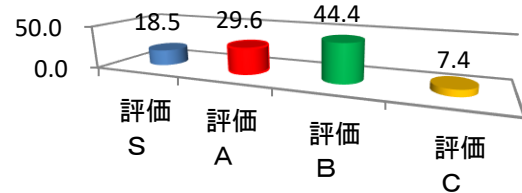
職務の遂行



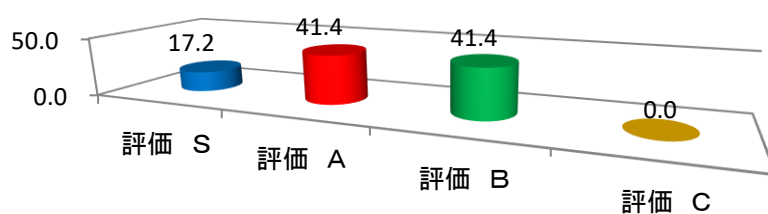
職務の積極性



自己の啓発研修



課題への対応

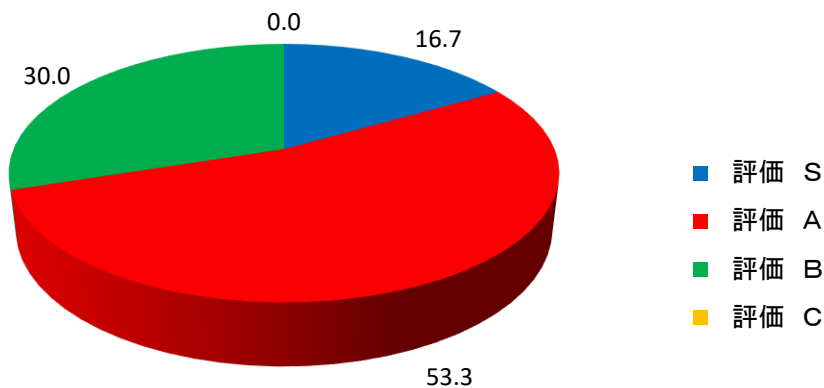


結果についての分析と改善策

- ・教職員が授業・学校行事(特別活動・遠足等)中心とした教育活動に生徒が真摯に取り組み、日々努力している。
- ・教職員の自己分析の結果を見ると、向上意欲を持って取り組んだ評価内容になっていると思われる。
- ・生徒に対して「自ら学び・自ら考える」を主体的に判断して、行動できる「生きる力」を身につけさせている。
- ・共通理解・共通行動・共通指導による教育を目指している。

令和元年度 教職員による自己評価の分析について

学習指導(教科指導、総合的な学習の時間等)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

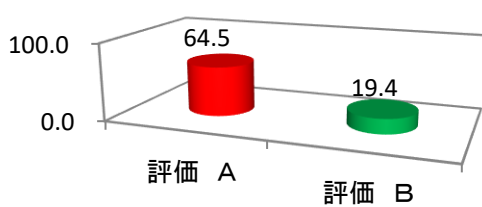
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

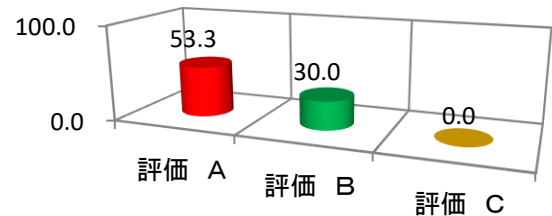
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

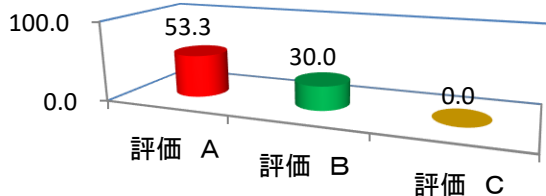
指導計画



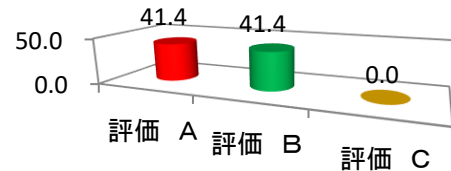
情報分析



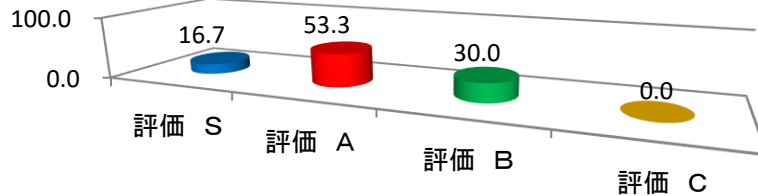
教科指導



目標達成



学習評価



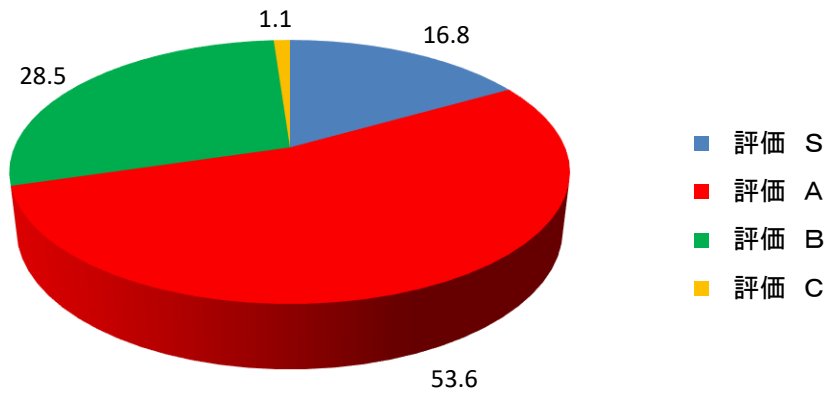
結果についての分析と改善策

- ・教職員が意欲的に授業改善に取り組んでいる。生徒の将来は「きめ細かい指導」を実践していることもあり、「生徒たちに学習機会を提供する場」として生徒がかかわる授業の一層の工夫に努めていく。
- ・教職員の豊かな人間性、社会性を身につけ、「人づくり」を推進し、安心して学ぶことができる役割を目指している。

令和元年度 教職員による自己評価の分析について

学級経営・生徒指導

(特別指導、学級活動、学校行事)



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

S:大幅に上回っている。

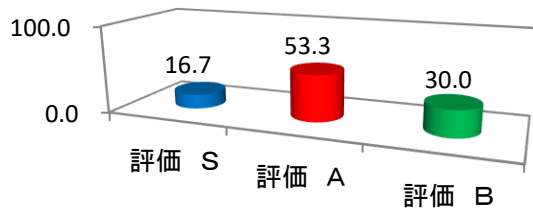
A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

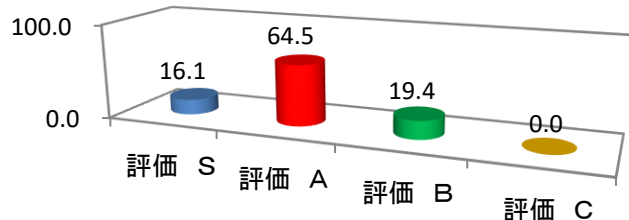
C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。

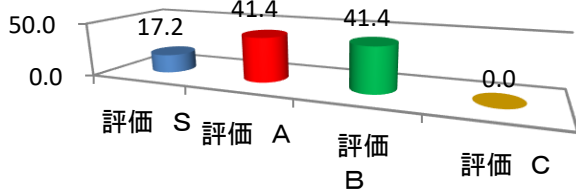
学級経営



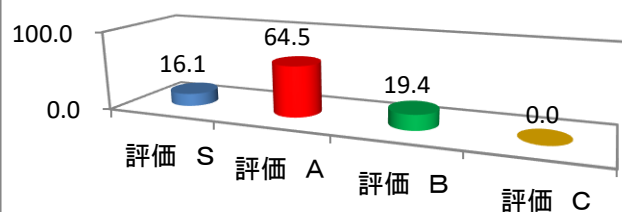
生徒理解



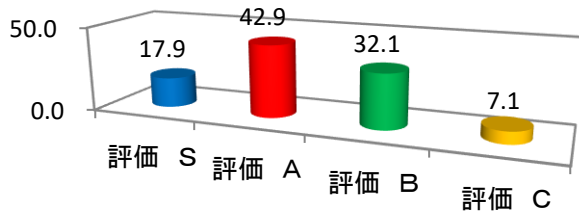
生徒指導



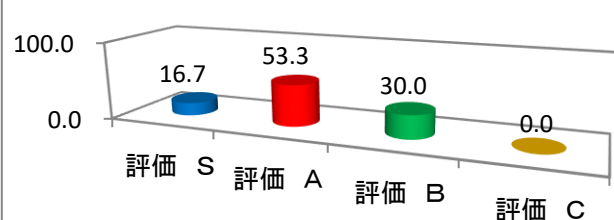
保護者説明



進路指導



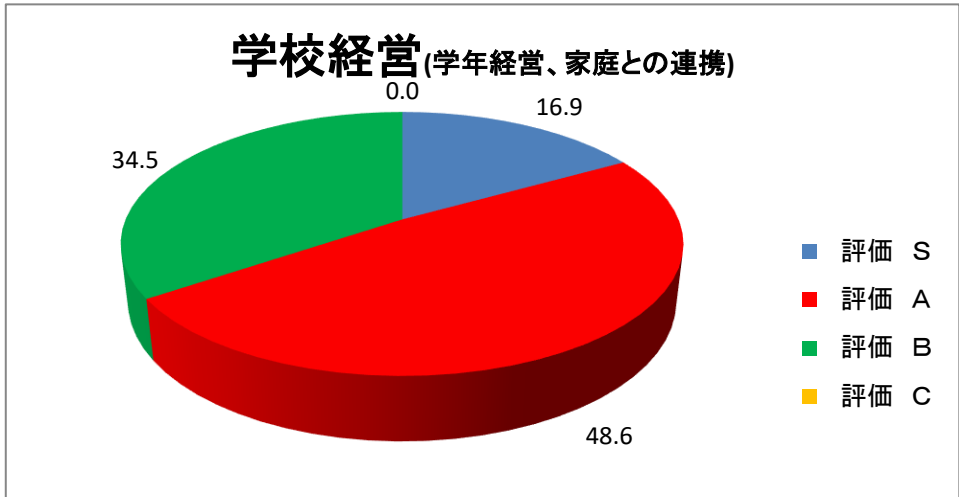
目標達成



結果についての分析と改善策

- ・生徒の幅広いニーズに応じるために効果的な学習プログラムや支援を要する生徒等の指導方法を確立し、生徒の「能力・適性・希望」などに応じた学習内容の取り組みを行った。
- ・生徒一人一人の能力や個性・適正に応じた「心に届く教育」を実践し、個々の進路目標の実現を図りながら、保護者などに親身な指導を実現している。
- ・生徒が主体的に自ら進路を決定できるような「生徒の興味」・「関心」・「進路目標」などに応じるために多くの講座を開講している。

令和元年度 教職員による自己評価の分析について



評価基準

職務遂行上必要とされる水準を

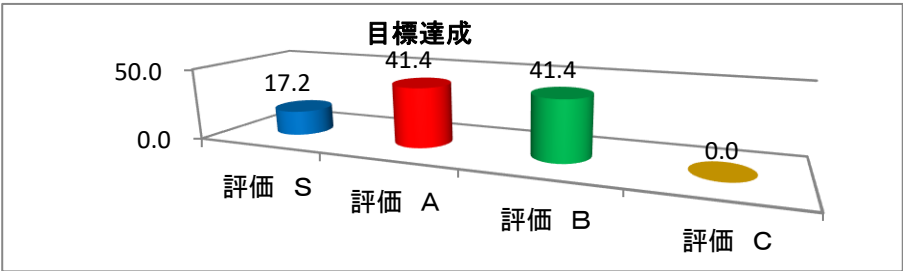
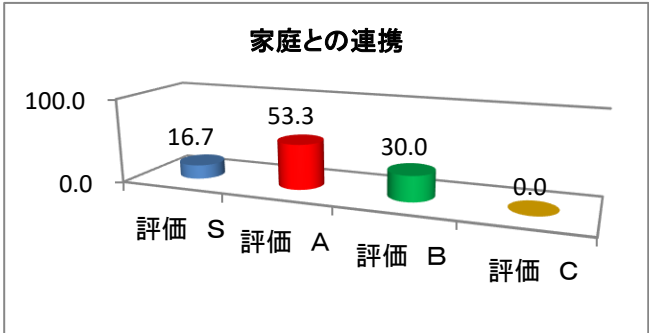
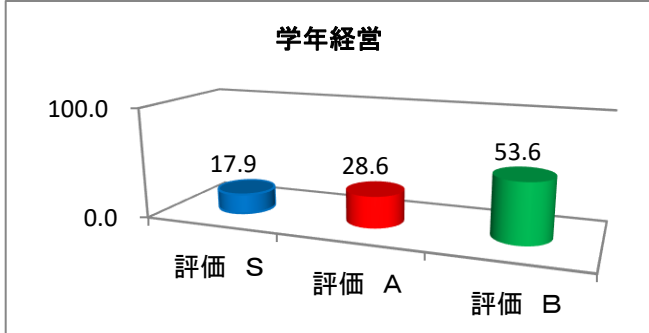
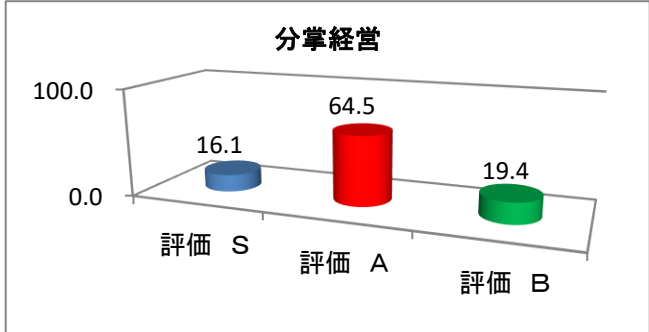
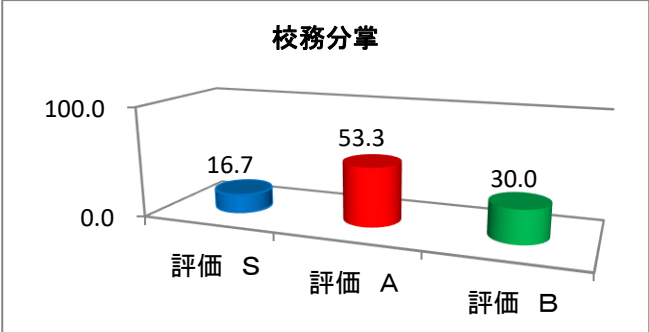
S:大幅に上回っている。

A:上回っている。

B:ほぼ達成している。

C:達成されていない。

D:大幅に下回っている。



結果についての分析と改善策

- ・校内ガイダンスや面談の充実、進路における生徒一人ひとりの考えや悩みを十分にくみ取り、特別活動・体験活動など通じて社会性を身につけさせる指導を実施している。
- ・学習内容を確実に身につけさせるために「習熟の程度」に応じた「生徒のニーズ」や「ライフスタイル」に対応した指導をしている。
- ・生徒の様々な個性を持つ集団の出会いを通して豊かな「人間性と社会性」を最大限に伸ばすために、家庭との連携に努めている。